

「観光懇話会」から提言書が提出されました

山陽小野田市の活用すべき観光資源と 具体的な観光振興策について提言

本市では、観光に関する課題や施策の方向性について意見交換を行い、観光推進の参考とするため、昨年8月に観光関係団体と公募市民で構成する「山陽小野田市観光懇話会」を設置しました。会議では、所属する団体や市民の視点から、本市の観光について熱心な議論が行われました。

会議の成果は「提言書」として取りまとめられ、1月28日、市長に提出されました。今後、本市の観光を推進するにあたり、貴重な資料として有効に活用します。



▲観光懇話会から市長へ提言書を提出

◎問い合わせ先：商工労働観光課（☎ 82 - 1151）

提言書

山陽小野田市の観光振興策について、観光関係団体から選出された委員10人、山陽小野田市の公募に応募した市民5人が、商工労働観光課の説明、資料提供等を受けながら、5回の協議を重ねてきた。ここにその協議結果を提言する。

(1) 観光振興ビジョンの作成

- ・観光振興のコンセプトを明確にする
- ・人的ネットワークの構築
- ・農協、漁協、商工会議所、観光協会、旅行業、宿泊業、行政等との協働の場（ネットワーク）の構築
- ・コーディネーターやキーパーソンの育成
- ・自然と観光との共存を図る
- ・観光関連業者協議会の設置

(2) 竜王山と焼野海岸を活用した観光振興

- ・竜王山は宝の山であり、以下の観光資源を活用する
 - 【自然】夕陽、夜景、ヒメボタル、アサギマダラ、山野草、ハマセンダン、本山岬の奇岩、竜王山ウォークなど
 - 【歴史】木戸刈屋道、烽台など
 - 【ハード】きららビーチ、きらら交流館、きららガラス未来館など
- ・桜など樹木の整備を行う
- ・関門海峡が望める環境を活かす

(3) 江汐公園を活用した観光振興

- ・森と湖の自然公園であり、四季折々の自然環境を活かした公園づくり
- ・江汐湖と高泊開作の歴史的由縁の紹介

(4) 寝太郎と厚狭毛利ゆかりの地を活用した観光振興

(5) パワースポット・ハッピースポット等の設定による観光振興

- ・きららビーチに幸福の鐘の設置
- ・きららビーチや津布田海岸から望む、関門海峡と夕陽のコラボレーション
- ・竜王山山頂展望台のハートマーク
- ・耳観音、子持御前など

(6) 観光ルートを作る

(7) 情報発信のネットワークづくり

- ・ビジターセンター（観光案内所）の設置（竜王山、焼野海岸、江汐公園、小野田駅前、厚狭駅前、埴生近辺等）
- ・道路に観光案内板の設置
- ・説明者・案内者の育成
- ・説明案内の作成（音声、テープ、CD等）

(8) 名産品・特産品を活用した観光振興

- ・特産品、ご当地グルメ、郷土料理の発掘
- ・他の都市で消費される地産他消の商品開発
- ・名産品販売所の設置・充実
- ・名産品・特産品協議会の設置

(9) イベントを活用した観光振興

(10) 良好な交通アクセスの活用

(11) その他

- ・産業観光の充実
- ・医療観光の検討
- ・ふるさと再発見、ふるさと探訪を推進する
- ・津布田海岸のグルメロードのPR
- ・スナメリ「ひびき君」のPR
- ・観光関係写真コンテストの実施

観光懇話会の会議録、提言書、各資料等は、市ホームページに掲載しています。